
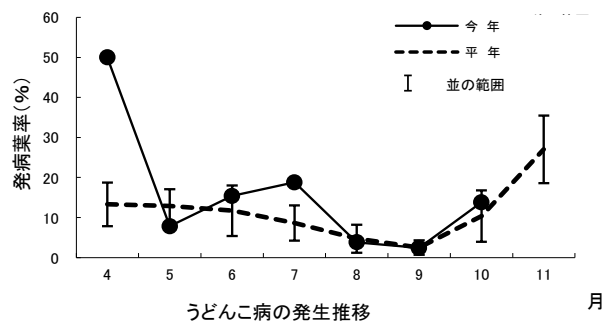


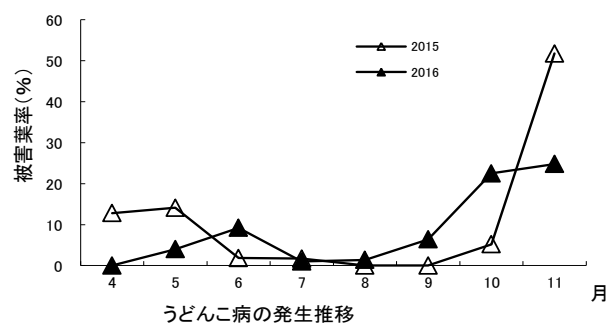
作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	① うどんこ病		
10月の発生量（現況）	並		
11月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、10月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

- ・ 10月中旬の調査の結果、発病葉率は13.8%（前年22.5%、平年10.4%）と平年並であった。
（今年のデータ）




（過去2年のデータ）



防除のポイント

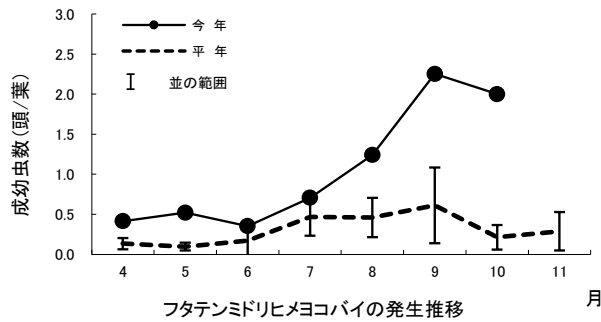
- ・ 不要な老葉・下葉を除去し、透光通風をよくする。
- ・ 発生源となるほ場及び周辺の除草を徹底する。

作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	② フタテンミドリヒメヨコバイ		
10月の発生量（現況）	多		
11月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、10月と同程度の発生量と考えられる。		

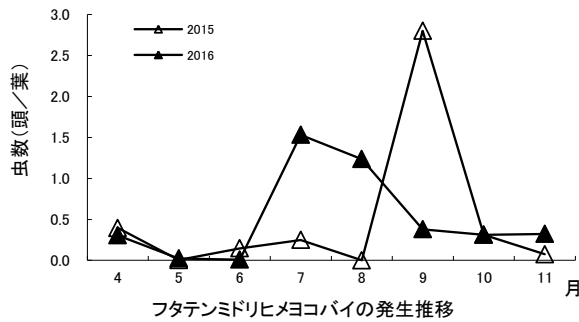
発生量の根拠（調査結果）

- ・ 9月中旬の調査の結果、葉当たり成虫・幼虫数は1.2頭（前年1.2頭、平年0.5頭）と平年より多かった。

（今年（今年）のデータ）




（過去2年のデータ）



防除のポイント

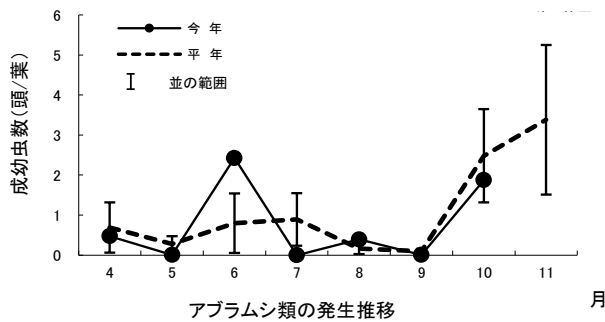
- ・多発すると吸汁加害により葉の萎縮や黄化が進み生育が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見、早期防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
10月の発生量（現況）	並		
11月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、10月より発生量は増加すると考えられる。		

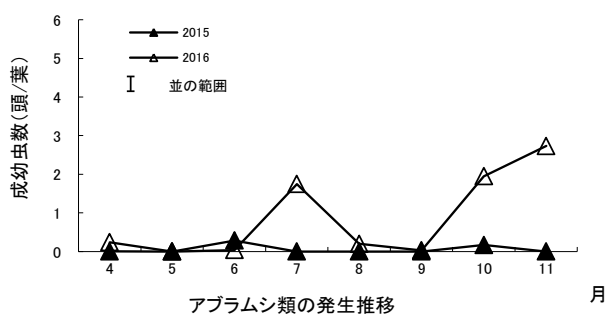
発生量の根拠（調査結果）

- ・ 10月中旬の調査の結果、葉当たり成虫・幼虫数は1.9頭（前年2.0頭、平年2.5頭）と平年並であった。

（今年（今年）のデータ）




（過去2年のデータ）



防除のポイント

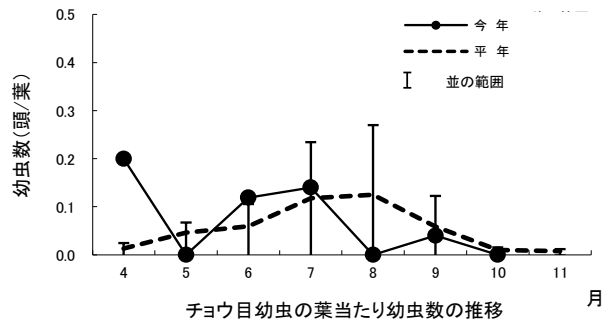
- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生育が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見、早期防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	④ チョウ目幼虫		
10月の発生量（現況）	(発生なし) やや少		
11月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	幼虫数の平年の発生推移から、10月と同程度の発生量と考えられる。		

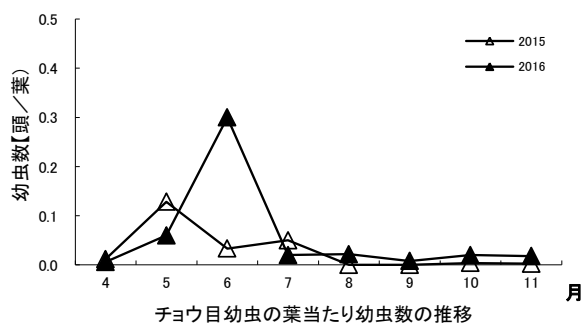
発生量の根拠（調査結果）

- ・ 10月中旬の調査の結果、葉当たり幼虫数は0頭（前年0.1頭未満、平年0.1頭未満）と平年よりやや少なかった。
- ・ 10月中旬の調査の結果、果実100個当たりオオタバコガ卵及び幼虫数は6.8個、0.4頭であった。

（今年のデータ）



（過去2年のデータ）



防除のポイント

- ・ 発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・ 老齢幼虫では薬剤効果が低下するので、若齢幼虫期のかすり状被害を確認したら速やかに防除を行う。